セゾンマルチシリーズ　据付説明書

FDTSJ(P)　28HKXD1～71HKXD1

PSB012D508

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。
リモコン及び電気工事の方法は、**電気配線工事説明書**（室内ユニット付属）をご覧ください。
総合工事仕様と室外ユニットの据付方法は、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

○本機は標準設置、高天井設置、下がり天井設置の３つの据付方法が可能です。
　下がり天井設置はオプション対応ですから、詳細は個々の据付説明書を本体据付前にご覧ください。

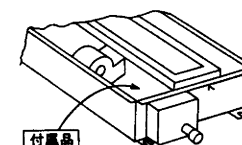
お願い

○取扱説明書を見ながら、お客様に実際に操作していただき、正しい運転のしかた（特にエアフィルタの清掃、運転操作のしかた、温度調節の方法）をご指導ください。
○長期間使用しない時は、電源スイッチを切るようにお客様にご指導ください。
電源スイッチを入れたままにしておきますと、クランクケースヒータに通電されエアコンを使用しなくても電力を消費することになります。

適用機種	マルチシリーズ	小母形	大母形
		28, 36, 45, 56H	71H
	標準・高天井（吹出口付パネル）	TS-PSA-26W PIC-26W	TS-PSA-36W PIC-36W
下がり天井用（吹出口なしパネル）		TS-PNA-26W PICM-26W	TS-PNA-36W PICM-36W

工事完了後、これだけは再チェック願います。

チェック項目	不良だと	チェック欄
室内ユニットの取付けはしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
パネルの取付けはしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
吹出口、吸込口に障害物はありませんか。	冷えない	
ショートサーキットしませんか。	冷えない	
冷媒漏れはありませんか。	冷えない	
ドレン水はスムーズに流れますか。	水漏れ	
断熱は冷媒配管・ドレン配管共に確実にされていますか。	水漏れ	
誤配管はありませんか。	運転不能	

据付のまえに

据付場所の選定

(お客様の承認を得て据付場所を選んでください。)

グリルとダクト ＼ 記号	A	B	C
弊社標準別売品を使用する場合	90	150〜200	240〜290
現地手配の場合	C＝400以下		

○冷風または温風が十分行きわたる所。据付高さが3mを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をご指導ください。
○ドレン排水が完全にできる所。ドレン勾配のとれる所。
○周囲の露点温度が28℃以下、相対湿度が80%以下の所。
本エアコンはJIS露付条件で試験を行い不具合のないことを確認しておりますが、ユニット周囲が上記条件以上の高湿度雰囲気で運転すると水滴が落下するおそれがあります。高湿度の所に据付ける場合は本体の断熱等露付に対する配慮をしてください。
○エアコン本体とリモコンはテレビやラジオなどから1m以上離してください。
○吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤動作しない所。ショートサーキットしない所。
○油の飛沫や蒸気の多い所はさけてください。（例：調理場、機械工場）熱交換器の性能低下、腐蝕、プラスチック部品の破損の原因となります。
○直射日光のあたらない所。
○天井裏高さが200mmを以上を有する所。
○高周波を発生する機械がある所はさけてください。ノイズ発生によるコントローラの誤動作の原因となります。
○腐食性ガス（亜硫酸ガスなど）、可燃性ガス（シンナー、ガソリンなど）の発生、滞留の可能性のある場所はさけてください。
熱交換器の腐蝕、プラスチック部品の破損の原因となります。
○冷媒ガスが漏れたとき、周囲の空気が限界濃度を超える恐れのある場合は窒息防止のため隣室との間の開口部やガス漏れ検知警報と連動する機械換気装置などの取付けが必要となりますのでご注意ください。

ユニット据付準備

天井の穴及び吊りボルト位置

機種 ＼ 記号	A	B	C	D
小形ユニット	990	1230	1290	180
大形ユニット	1250	1440	1500	145

吊りボルトの固定

図及びその他の方法によりボルトを確実に固定してください。

高天井設置改修要領

(高天井設置の場合は次の改修が必要です。)

①吹出口に直吹パネルに付属の断熱材を貼り付けます。

②ファンモータのコネクタを50Hz側に差し換えてください。(50Hz、60Hz地区共)

ユニットの搬入、据付

搬入

○搬入時はできるだけ据付場所の近くまで梱包のまま搬入してください。
○やむをえず解梱して搬入する場合はナイロンスリングまたは、ユニットを傷つけないよう当て板をしてロープで吊り上げてください。
○解梱後ユニットを置く場合は必ずユニット下面側を上にして置いてください。
(ユニット下面側が発泡スチロールでできており、損傷を防ぐため。)

据付

お願い　配管工事等のじゃまになりますので吊りボルトの長さは、※印寸法を厳守ください。

本体を据付けたとき、本体と天井穴の寸法が出ないときは、据付金具の長穴になっていますので調整してください。

<水平度の調整>

水準器を使用するか、下記の要領で水平度の調整を行ってください。

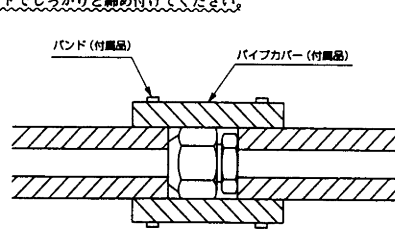
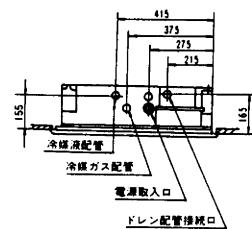
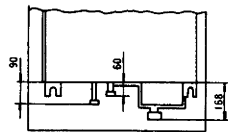
○本体下面と水面高さが下図になるように調整してください。

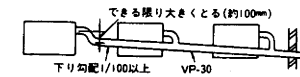
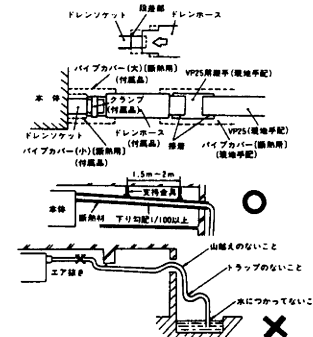
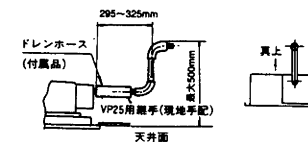
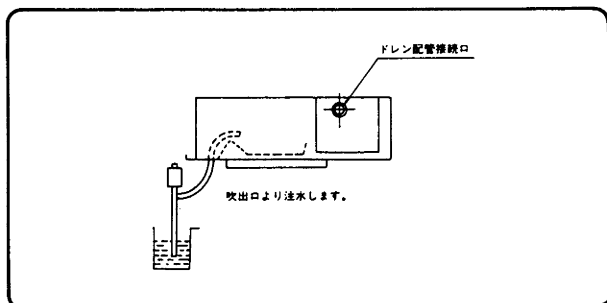
配管側をさがりぎみにしてください。

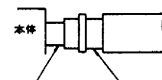
冷媒配管

冷媒配管工事については、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。

●室内機のフレア接続部は、ガス漏れチェック後、付属の継手用断熱材をかぶせ、両端を付属のバンドでしっかりと締め付けてください。

ドレン配管

- ○パネル取付時の微調整のため付属のフレキホースを取付けてください。
- ○付属のドレンホース(軟質塩ビ端)をユニットのドレンソケットの段差部まで装着し、付属のクランプで確実に締付けてください。
- ○ドレンホース(硬質塩ビ端)にＶＰ－25用継手(現地手配)を装着・接続し、この継手にＶＰ－25(現地手配)を接着・接続してください。
- ○ドレン配管は下り勾配(1/50～1/100)とし途中山越えやトラップを作らないようにしてください。
- ○ドレン配管を接続する場合にユニット側の配管に力を加えないように注意して行いできる限りユニット近傍で配管を固定してください。
- ○ドレン管は市販の硬質塩ビパイプ一般管ＶＰ－25を使用してください。
- ○複数台のドレン配管の場合右図のように、本体ドレン出口より約100mm下に集合配管がくるようにしてください。
また集合管はＶＰ－30以上を使用してください。
- ○結露が発生し、水洩れをおこす可能性がありますので、下記２箇所は確実に断熱してください。
  - ・ドレンソケット部
パイプカバー(小：付属品)をドレンソケット部に装着したあと、パイプカバー（大：付属品）にてパイプカバー(小)、クランプおよびドレンホースの一部を覆い、テープによりすきまのないように巻いてください。
  - ・室内にある硬質塩ビパイプ
- ○エア抜きは絶対に設けないでください。
- ○ドレン配管の出口は、臭気の発生する恐れのない場所に施工してください。
- ○ドレン配管はイオウ系ガスの発生する下水溝に直接入れないでください。

排水テスト

（電気工事が終了していない場合は排水管つなぎ込み部に凸形継手を接続し注水口を設けて配管系統のもれ及び排水状況の確認をしてください。）

○パネル取付前に実施してください。
○電気工事終了後に実施してください。
○リモコンスイッチをつなぎ、冷房運転にしてください。圧縮機ＯＮでドレンポンプが回ります。
○左図要領で徐々に水2000cc～3000cc位を入れてください。
○ドレン排水用電動機の回転音を確認しながら排水するかどうかをテストしてください。

透明ソケットで排水状況を確認できます。 ドレンホース（付属品）

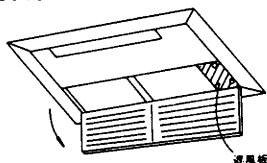
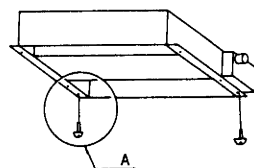
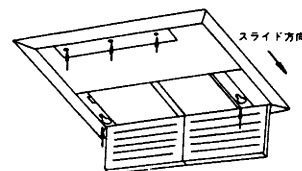
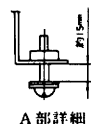
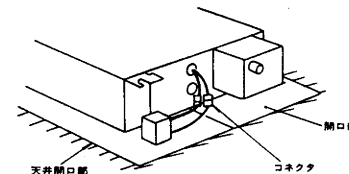
○排水が良好に行なわれることと、接続部等からの水洩れのないことをご確認ください。

ドレンポンプ強制運転方法

○室内機基板上のディップスイッチSW5-3をONにしてください。ドレンポンプが連続運転します。
○排水テスト後は、必ずディップスイッチをOFFに戻してください。

（電気工事が終了していない場合は排水管つなぎ込み部に凸形継手を接続し注水口を設けて配管系統のもれ及び排水状況の確認をしてください。）

パネルの取付

①吹込グリルを開け、中の遮風板を外します。（ネジ２本を外す）

②本体にパネル取付用ネジ（Ｍ５×35）２本を取り付けます。

③パネルの穴部（２か所）を本体のネジに引っかけ、10mm程スライドさせます。パネル取付用ネジ５本にてパネルを固定します。

④ルーバモータ、リミットスイッチ用コネクタを開口部より接続します。

⑤遮風板を元通り取付けてください。

⑥吸込グリルを閉めて完了です。

電気工事及び試運転

同封の電気配線工事説明書を御覧ください。

セゾンマルチシリーズ　電気配線工事説明書

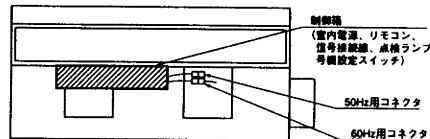
FDTSJ(P)　28HKXD1～71HKXD1

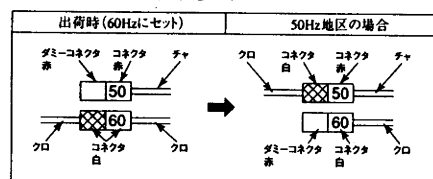
安全上の注意事項については、ユニット付属の据付説明書に記載してありますので、必ずご参照いただきますようお願いします。

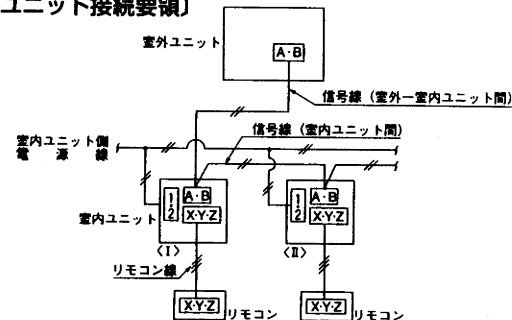
電気配線工事は電力会社の認定工事店で行ってください。

① 電気配線接続

室内ユニット制御箱

○室内電源配線、リモコン信号線は端子台にて接続してください。
なお端子台間の接続は室内外共、同一番号間を接続配線により結線してください。

お願い

50Hz地区でご使用の場合は、室内モータのコネクタを50Hz側に差し換えてください。
コネクタは制御箱の横にあります。（上図参照）

配線系統図

〔室外・室内ユニット接続要領〕

記事1．本配線仕様は、
1) 電源は、室外ユニット・室内ユニットの夫々別電源
2) 電気ヒータ（別売品）含まず
にて記載してあります。
注）別売の電気ヒータを組込む場合は、電源仕様、配線仕様および配線本数が異なりますので、ご注意ください。

2．電源仕様

	室内ユニット用		
配線用しゃ断器定格電流（A）	室内ユニット合計電流（A）	10A未満	20
		10A以上15A未満	30
		15A以上22A未満	40
		22A以上27A未満	50
漏電しゃ断器定格電流（A）		10A未満	20,30mA.0.1sec以下
		10A以上15A未満	30,30mA.0.1sec以下
		15A以上22A未満	40,30mA.0.1sec以下
		22A以上27A未満	50,100mA.0.1sec以下

室内ユニット接続線は5.5mm²まで可能です。8mm²以上は専用プルボックスを使用し室内ユニットへ分岐してください。

3．配線仕様

電源配線		室内ユニット間電源配線	信号線	
室内側		系統間	室外～室内(1)	室内(1)～(2)～
		mm²×本数	mm²×本数	
室内ユニット合計電流（A）	10A未満	2×2本（こう長23m）	0.75～2.0×2本	0.75～2.0×2本
	10A以上15A未満	3.5×2本（こう長23m）		
	15A以上22A未満	5×2本（こう長23m）		
	22A以上27A未満	8×2本（こう長23m）		

注）内線規定に従い、配線こう長より配線太さを見直してください。

冷暖フリーマルチ（224H, 280H, 560H）の場合

分流コントローラの配線

●本ユニットを冷暖フリーマルチとして使用する場合は分流コントローラ（別売品）の据付説明書をご覧ください。

② アドレス設定

（1）自動アドレス設定
（2）手動アドレス設定
（3）リモコンアドレス設定

上記3項目については、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。
なお、（3）リモコンアドレス設定については、設定可能な機種と不可能な機種がありますので室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

③ リモコン取付と配線

リモコン

リモコンは別売です。

リモコンの据付

お願い 次の位置は避けてください。

1) 直射日光の当る場所
2) 発熱器具の近く
3) 湿気の多い所・水の掛る所
4) 取付面に凸凹がある所

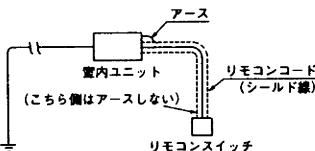
リモコンコードを延長する場合の注意 ▶最大総延長600m

コードは必ずシールド線を使用してください。

●全形式：0.3mm²×3心（MVVS）

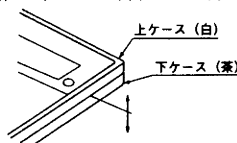
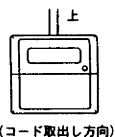
注（1）延長距離が100mを越える場合は下記のサイズに変更してください。

100～200m以内……0.5mm²×3心
300m以内……0.75mm²×3心
400m以内……1.25mm²×3心
600m以内……2.0mm²×3心

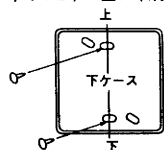
●シールド線は必ず片側のみをアースしてください。

取付要領

露出取付

①リモコンケースをはずしてください。

●側面上方の上ケース（白）と下ケース（茶）に爪を掛け溝を広げはずします。

②リモコンコードの取出し方向は、下図のように上方向のみ可能です。

（コード取出し方向）

●リモコン下ケース側の上方薄肉部をニッパー・ナイフ等で切り取った後、ヤスリ等でバリを取ってください。

③リモコン下ケースを付属の木ネジ2本で壁に取付けます。

④リモコンコードを端子台に接続してください。室内ユニットとリモコンの端子番号を合わせて接続してください。端子台には極性があるので間違えると運転できません。

端子：Ⓧ赤線、Ⓨ白線、Ⓩ黒線

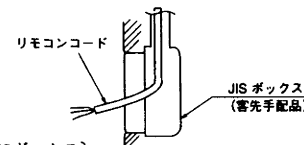
⑤室内機の機種に応じて機能の設定をしてください。

機能の設定 の項をご覧ください。

⑥上ケースを元通り、下ケースにはめ込みます。

⑦リモコンコードをコードクランプを使用して壁等に固定します。

埋込取付

①JISボックスとリモコンコード（延長の場合はシールド線を必ず使用）をあらかじめ埋込んでおきます。

〔使用可能JISボックス〕

● JIS C 8336 1個用スイッチボックス（カバーなし）
2個用スイッチボックス（カバーなし）

②リモコンの上ケースを外してください。

③下ケースをM4ねじ2本（頭φ8以下：客先手配品）でJISボックスに取付けてください。

④リモコンコードをリモコンに接続します。

注） 露出取付け の項をご覧ください。

⑤室内機の機種に応じて機能スイッチの設定をしてください。

機能の設定 をご覧ください。

⑥上ケースを元通り下ケースにはめ込み取付完了です。

機能の設定

切換スイッチの設定（基板側面）

スイッチ	設定	機能の内容
機種切換	冷	冷房専用機に使用する時
SW1	ヒ	ヒートポンプ機対応
リモコンセンサ	有	リモコンセンサを使用する時
SW2	無	無効（室内機センサー有効）
停電補償	有	停電補償機能有効にする時
SW3	無	無効（停電時は初期設定）
リモコン	子	子リモコン（親子リモコン制御）
SW4	親	親リモコン

ジャンパ線の設定

風量切換	開放	風量2速の機種　急⇔弱
ジャンパJ2	短絡	風量3速の機種　急⇔強⇔弱

吸込温度表示	開放	温度表示を消したい時
ジャンパ J1	短絡	吸込温度表示をする時

スイング表示	開放	ルーバー位置表示をしない
ジャンパ J4	短絡	ルーバー位置表示をします

（オートスイング無しのリモコンは、J4はありません）

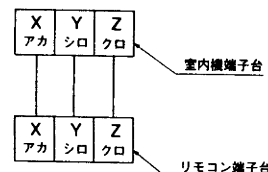
タイマ機能	開放	タイマーを無効にする時
ジャンパ J3	短絡	タイマー機能を選択できます

冷暖フリーマルチ用として使用する場合

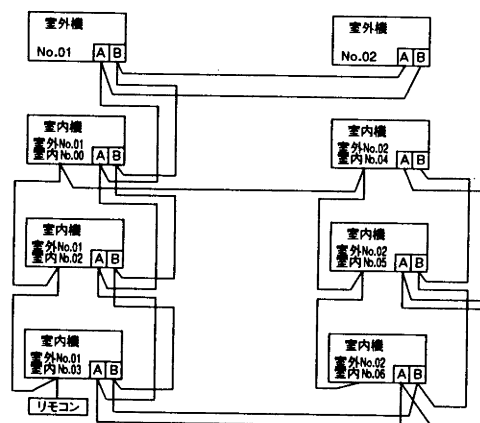
リモコン基板上のジャンパ線（J6）を切断してください。

機種切換	開放	冷暖フリーマルチ用
ジャンパ J6	短絡	冷暖切替マルチ用

リモコンと室内の配線

●リモコン配線は極性があります。必ず同一端子台No.同士接続してください。

リモコン複数台制御

配線要領

●グループ制御用に各室内機間に渡り配線をします。（3本）
　■室内ユニットリモコン用端子台ＸＹＺに、接続してください。なお極性がありますので、同じ端子No.の所へ接続してください。
　■配線は0.5mm²以上を使用してください。（配線の引廻しに耐えるもの）
　■渡り線、リモートコントローラ配線の総延長は600m以内としてください。
●室内・室外No.を手動アドレス設定にてセットしてください。
　■室外機の室外No.設定も必要です。忘れずに設定してください。
●下図の様に室外機が複数台の場合でもリモコン複数台制御可能です。
●1つのリモートコントローラで複数台のユニット（最大16台）をグループ制御できます。

④ 制御の切換

室内機の制御内容を、下記方法にて切換可能です。

<table>
<tr><th></th><th>制御切換方法</th><th>制御切換内容</th></tr>
<tr><td rowspan="10">室内機</td><td>室内基板〔SW-5〕のNo.1をON</td><td>遠方発停入力（CNT-No.6）切換
出荷時…レベル入力（反転できない）
↓
切　換…パルス入力（反転）</td></tr>
<tr><td>室内基板〔SW-5〕のNo.2をON</td><td>暖房時設定温度＋3℃</td></tr>
<tr><td>室内基板〔SW-5〕のNo.3をON</td><td>ドレンモータ運転</td></tr>
<tr><td>室内基板〔J-2〕切断</td><td>オートスイング4位置制御ナシ（フリー位置制御）</td></tr>
<tr><td>室内基板SW-6のNo.1～4のON・OFFを切換える。</td><td>
<table>
<tr><th>機種</th><th>22H</th><th>28H</th><th>36H</th><th>45H</th><th>56H</th><th>71H</th><th>80H</th><th>90H</th><th>112H</th><th>140H</th><th>160H</th><th>224H</th><th>280H</th></tr>
<tr><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr>
<tr><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr>
<tr><td>3</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr>
<tr><td>4</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr>
</table>
0はOFF、1はON</td></tr>
<tr><td>室内基板〔J-3〕切断</td><td>暖房サーモOFF時に室内ファンが停止する。</td></tr>
<tr><td>室内基板〔J-4〕切断</td><td>フィルタサイン無効（検知しない）</td></tr>
<tr><td>室内基板〔J-5〕切断</td><td>運転許可禁止制御</td></tr>
<tr><td>室内基板SW-9のNo.1,2のON・OFFを切り換える
(4方向吹出し、
4方向吹出しコンパクト)</td><td>オートリフトパネルの昇降長さの設定
<table>
<tr><th></th><th colspan="2">50Hz地区</th><th colspan="2">60Hz地区</th></tr>
<tr><th>昇降長</th><th>SW9-1</th><th>SW9-2</th><th>SW9-1</th><th>SW9-2</th></tr>
<tr><td>1.3m</td><td>ON</td><td>OFF</td><td>OFF</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td>1.6m</td><td>OFF</td><td>ON</td><td>ON</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td>2m</td><td>ON</td><td>ON</td><td>OFF</td><td>ON</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>室内基板〔J-1〕切断</td><td>ルーバ角度切換</td></tr>
</table>

⑤ 室内基板CnTコネクタの機能

●$X_{R1\sim4}$はDC12Vリレー（オムロン製LY2F相当品）
●X_{R5}は、DC12, 24V又はAC100Vリレー（オムロン製MY2F相当品）
●CnTコネクター（現地側）メーカー、形式

コネクター	モレックス	5264-06
端　　子	モレックス	5263T

●機　能

<table>
<tr><td>出力1</td><td colspan="2">エアコン運転出力（エアコンON時X_{R1}＝ON）</td></tr>
<tr><td>出力2</td><td colspan="2">暖房出力</td></tr>
<tr><td>出力3</td><td colspan="2">サーモON出力（サーモON時X_{R3}＝ON）</td></tr>
<tr><td>出力4</td><td colspan="2">エアコン点検出力（エアコン点検時X_{R4}＝ON）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">入力5</td><td rowspan="2">出　荷　時</td><td>X_{R5}　OFF⇒ON　エアコンON</td></tr>
<tr><td>X_{R5}　ON⇒OFF　エアコンOFF</td></tr>
<tr><td>現地切換
(SW5のNo.1をON)</td><td>X_{R5}　OFF⇒ONのパルス信号によりON/OFF反転</td></tr>
</table>

●冷暖フリーマルチとして使用する場合は分流コントローラ（別売品）の据付説明書をご覧ください。
●遠方発停・監視キットを別売品で準備しておりますのでご利用ください。

⑥ 試　運　転

試運転については、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

⑦ 故障診断方法

故障診断方法については、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

⑧ 工事完了後のチェック項目

- ☐ 電源電圧は本体表示と同じですか。
- ☐ 室外機側でアース工事はされていますか。
- ☐ 電源線の太さは指定の配線と同じですか。
- ☐ 電源線、信号線、リモコン線の接続位置は正しいですか。